

12月
7日・8日

「江戸前みなと塾～江戸前の海の開発と保全を考える2日間～」を実施しました！

～参加者が考える江戸前の海・東京湾～

平成23年度から毎年、東京海洋大学と芝浦港南地区総合支所の連携事業「江戸前みなと塾」を実施しています。今年度は、12月7日・8日、江戸前の海の開発と保全について「埋め立て」と「干潟」をキーワードに学びました。講義、船による東京湾の現況見学、ワークショップ等を通じて、参加者、講師、学生、スタッフが全員で今後の江戸前の海のあり方を語り合い、考えていくという2日間でした。

第1回 平成25年12月7日「ワークショップ」「東京湾の埋め立ての歴史」参加者28人 講師：河野博氏（東京海洋大学）、田中ゆう子氏（東亜建設工業）

第2回 平成25年12月8日「東京港クルーズ」「干潟と生物」「ワークショップ」参加者26人 講師：今井健三氏（日本水路協会）、小堀信幸氏（船の科学館）、師田彰子氏（全国内水面漁連）、加納光樹氏（茨城大学）、河野博氏（東京海洋大学）



2日間ともワークショップでは、6班に分かれ、「これからの江戸前の海の開発と保全のあるべき姿」を話し合い、最後に各班の提言をまとめて参加者全員で投票しました。その結果、下の二つが「江戸前みなと塾の提言」として選ばれました。

- ・自然としての海を体感できる場所、開発と自然の両立
- ・埋立地で自然を調和させながら多目的な利用をする

昨年度の江戸前みなと塾の提言（べいあつぱ27号5頁参照）では、クルージングでの港区のアピール、運河の有効利用等の意見がありました。芝浦港南地区総合支所では、運河や東京湾での運河クルーズ、各種講座での船舶の利用、運河沿いでのウォーキング等といった運河や東京湾に親しむことのできる事業を充実させています。

江戸前みなと塾の詳細内容は港区のHPを御覧ください。 [江戸前みなと塾](#) [検索](#)



レインボーブリッジ南ルートから見える第三台場

D
:
5

P2
P3
～6
P7
P8
P9
11
12

第三台場